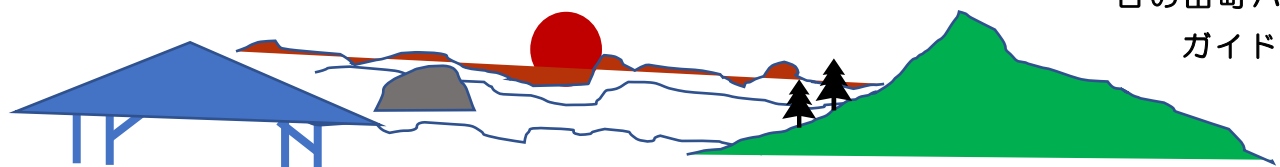


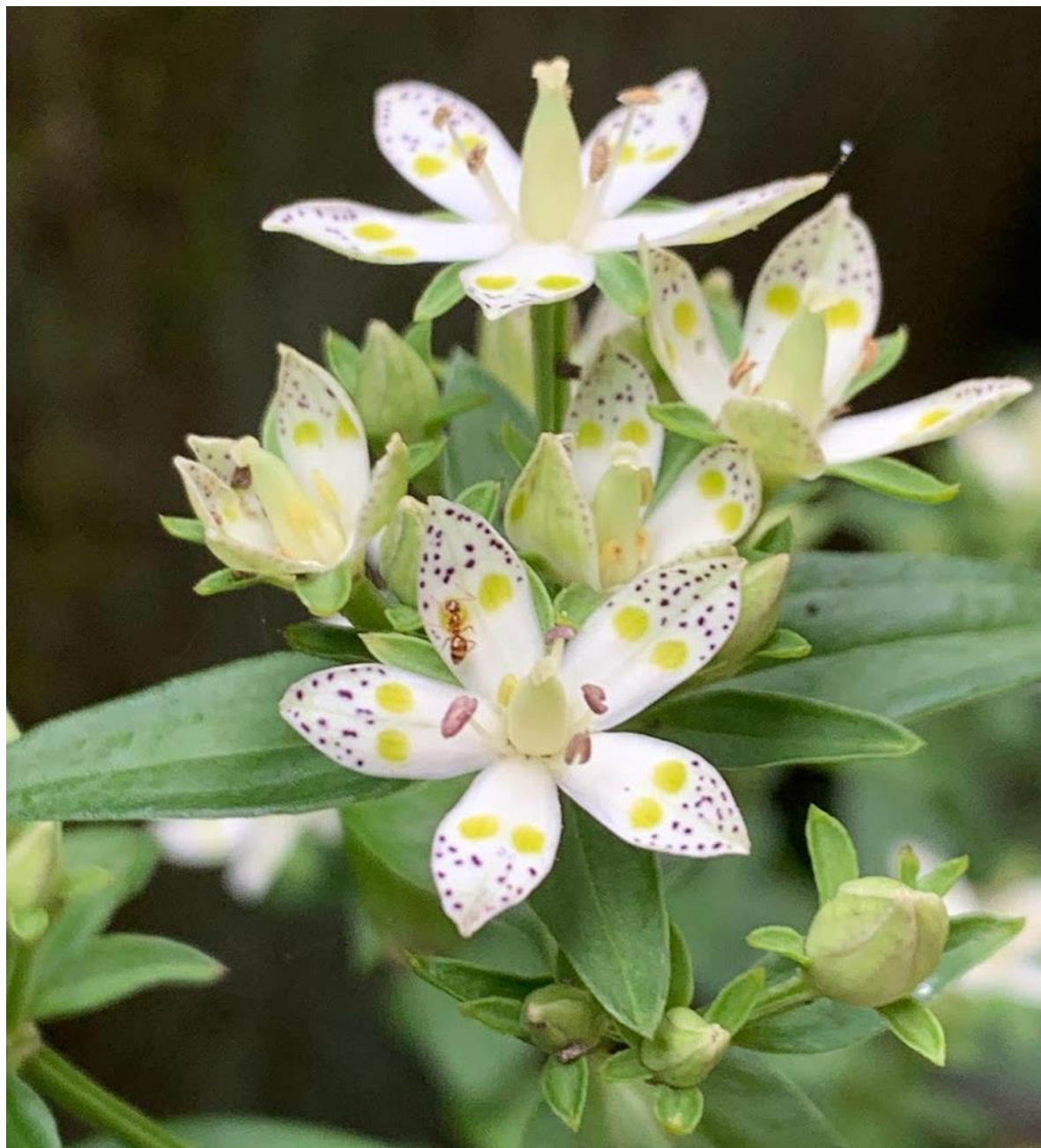
日のハイ通信

日の出山 第12号

令和7(2025)年
10月10日発行
日の出町ハイキング
ガイドの会



さと山は光と風のハ～モニ～



アケボノソウ リンドウ科センブリ属 2023.10.10

花卉の色や模様が夜明け前の空や星にたとえられたことに由来。散らばっている細かな斑点は夜明けの空に残る星で、漢字で書くと「曙草」となり、夜明け前を意味する。北海道から九州までの山地の湿り気のある場所に生育する2年草。花言葉は「祝福・希望・今日も元気で・前向き」等。花びらの中央にある黄色の丸い斑点は蜜腺でありアリなどが蜜を求めて集まります。東京では絶滅危惧種。

三ツ峠山登山日記

雷神様と山神様の悪戯にちょっと驚きながら

新会員 湯本麻美子

7月26日【土】晴天猛暑の中、路線バスに6名の会員、御大石川会長とベテランガイド、ロマンスグレー増澤氏を加え、河口湖駅より総勢8名でいざ出発。富士山のお膝元ならではのインバウンド観光客の多さを目の当りにしながら、飛び交う外国客の多様な言語に、人種のミニるつぼを感じる。「お願いだから日本の自然環境を汚すことなくエンジョイしてお金を地元へ還元して」と期待する勝手な日本人としての我が思い。

さて、三ツ峠登山口で下車すると、そこは高原を思わせるような涼風が吹きそよぎ、熱中症への不安はやわらぎ、がぜん自信が湧く。

新会員で初参加の我が身だったが、各自の自己紹介と登山目的を傾聴しながら、健康増進と自然を楽しむエイジング仲間恵まれたとこれまた一安心する。

三ツ峠山???名前もどこに坐するかも全く未知の私は、果たして登山する人いるのかしらと思っていたところ、何の何の、みな結構登っていること。登山口駐車場には首都圏ナンバーの車も複数台駐車。老若男女、幼児まで、炎天下をものともせず登山する人々と、緑生い茂る樹木の調和が風景に映える。標高1200メートル地点から登り始め1770メートル近い山荘に到着。雲を纏った富士のお山を眺め、かたや屏風岩をよじ登るクライマーの勇猛さに驚嘆しつつ、握り飯をパクリ。久方ぶりの心地よい空腹感で自家製飯の旨いこと。ここでドラマ脚色すると『しかし、その後のあの恐怖を知る由もなく幸せ満喫タイムだったのだ。じゃじゃじゃじゃーん、山岳サスペンス劇場より』・・・(皆様御想像を)。昼食終え、さらに頂上めざし全員登頂。しかし天空上には暗雲にわかに立ち込め、雷鳴響きぽつぽつと雨粒が降り始める。会長指示で速やかに下山行動開始、瞬く間に雨粒が雷雨にそして激しい電が地面へ叩きつけられる。極度の雷恐怖症の私は生きた心地がせず、雨着を着用し、屋根

のあるところへ一目散に逃避。

振り返ると一人道中、oh!先を歩く人がいる!!前を歩く2名の若者とトイレの軒下に避難。心優しい若者の「大丈夫、体温低下は」等心優しい会話で気持ちが落ち着くも、一番の安堵は迎えに来て下さった石川会長の笑顔でした。(感謝)



雷雲は去り、下山は爽快な木立の風を頬に感じ、自生する様々な植物や、メタボチックな蛙のおどけた姿も鑑賞。「雷神様、山神様登山者にちょっと刺激と自然の怖さを味わわせ、速やかに去ってくれて有難う」の気分で河口湖ロープウェイ付近に到着。あっ、やっと見えた、富士山、その秀丽なお姿 待ってたよ!(感激)

富士山をはじめ御坂山塊や甲州の山々、そして河口湖や西湖の遠景を目に収め、無事河口湖駅に到着。自然の素晴らしさと驚異を一日で凝縮して堪能できた三ツ峠山登山、この次は秋の紅葉湖畔散策しようかなと思案中です。石川会長、ガイド増澤氏、そしてご一緒出来たメンバーの皆様、大変有難うございました。帰途の高速バスに揺られながら、心地よい疲労感に浸り、帰宅後の缶ビールを渴望しつつ、まどろむ私でした。



雷雲の去った後の富士山

白谷沢から登る棒ノ折山 9月7日

会員 小林洋子

白谷沢から棒ノ折山への登山は今回で2回目です。前は昨年9月22日、今回は9月7日で時季的には同じでしたが、天気が大きく違っていました。

前は集合場所から雨模様で、白谷沢も小雨が降っていました。でも私にとっては初めての沢登り、とてもワクワクしました。その時に見たゴルジュは幻想的で、岩壁に挟まれた暗い空間は少し怖いくらいでした。



2024 撮影



2025.9.7

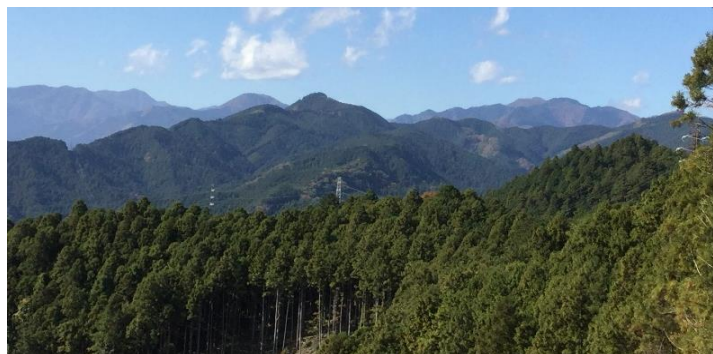
今回は天気も良く、期待に胸を膨らませながら沢まで歩いて行きました。沢の水は冷たかったです。前は見たゴルジュも、明るい光の中で別の顔を覗かせていました。両側の崖や谷間の様子もよく見えて、石を跳び越えながら進むのは日常生活にはない高揚感がありました。そして崖登り。鎖場になっていてロープもありスリル満点でした。沢を離れ、しばらく歩くと所々に壊れた階段が出てきます。危ないところを避けながら登るので体力も使います。山頂付近になると階段はますます長くなり、苦行と言っているくらいでした。山頂に着いた時は汗だくで、でも爽やかな風が気持ち良かったです。前回と今回、天気によって山の景色は変わりますが、どちらも自然を満喫できた登山でした。機会があったらまた行ってみたいです。

左奥：鷹ノ巣山、中央左：本仁田山
手前中央右：惣岳山 右奥：川乗山

10月17日 青梅丘陵を歩こう

多摩川は笠取山に端を發し西から東に向かって流れ下る。御岳の玉堂美術館付近では巨岩の間を縫い沢井付近でようやく緩やかな流れに変わる。軍畑駅から始まる今日の青梅丘陵コースは秋の野草を始め多摩川や奥多摩の山岳景観の美しさと同時に歴史を感じさせてくれるコースでもある。軍畑駅の名前は永禄年間（1561～1563頃）に三田氏と北条氏が多摩川を挟んだこの地で激しい戦いを繰り広げたことによる。軍畑駅は世界恐慌の1929（昭和4）年9月1日に開業した。駅から東に進み鎌倉古道を平溝橋まで進んで高水山ルートと別れる。くねくね曲がった舗装道路を800mほど進んだところに青梅丘陵ハイキングコースの入口。そこから30mほど登ったところが旧榎峠の掘割で明治時代に開鑿された記念碑は是非確認したい。

ここから本格的なハイキングコースとなる。スギとヒノキの急な植林帯の坂道を3つほど越えたとこのコースの最高地点雷電山の山頂（494m）に到達。山頂の北側には奥多摩工業の碎石場が下方に見える。ここから三田氏が籠城し北条氏と戦った辛垣城（からかいじょう）跡地まで25分ほど。当時の掘割や武家屋敷らしき平坦地に戦国の世を想像したい。この付近には所々に白い岩石が散らばっているのが目につく。それはかつて浅野セメントが石灰岩を採掘した跡地の名残である。



奥多摩の山並み（サスザウ峠付近）

画像の右手から北に続く道を辿ると700年の歴史があるといわれる栗平集落へ着く。春はオウメソウ、秋はヒガンバナが咲き乱れる桃源郷である。ぜひ一度は訪れていただき日本の山里風景が残る場所である。

『友の会』関連行事の紹介

ここでは、令和7年10月から12月にかけて『日の出町ハイキングガイドの会』が主催するハイキングと登山について紹介致します。

ハイキングは概ね半日程度の里山歩きを平日に、また、登山については標高差や距離がやや長めで休日(土曜日を含む)に設定してあります。(歩程時間:休憩を除くおおよその目安です。)どちらも『日の出友の会』会員の皆様から、先着順で受付け、定員に達し次第締切ります。早めにお申込みください。

申し込み締め切り後、催行予定の概ね一週間前迄には、参加の可否についてお知らせ致します。申し込み後、何らかの理由で止むを得ず参加出来なくなった場合には、その旨速やかに連絡願います。交通機関のダイヤ改正等により集合時刻の変更があれば、申込者に連絡します。

令和8年3月以降の計画については『日のハイ通信』13号(令和8年1月発行)に掲載予定です。

I. ハイキング(事前申し込み制)

◎ 10/23(木) 堂平山 360 度の大展望

JR 八高線(東武線)小川町駅前 8:10 集合
(歩程約 4 時間)

コース 小川町駅=皆谷…笠山…笠山峠…堂平山…白石車庫=小川町駅

◎ 11/20(木) 紅葉の奥多摩むかし道

JR 奥多摩駅前 8:00 集合(歩程約 4 時間)

コース 奥多摩駅=奥多摩湖…浅間神社…惣岳溪谷…白髭神社…奥多摩駅

(バスで奥多摩湖に行き湖畔から下るコースとなります)



むかし道の紅葉

◎ 12/4(木) 天竺山から羽生丘陵

JR 武蔵五日市駅前 8:15 集合(歩程約 4 時間)

コース 五日市駅…三内…天竺山…羽生丘陵…日の出団地東尾根…武蔵増戸駅

(日の出団地上からの展望は抜群です)

◎ 1/15(木) 文化と自然あふれるお鷹の道

JR 国分寺駅前 8:00 集合(歩程約 4 時間)

コース 国分寺駅…電車開通記念碑…殿ヶ谷戸庭園…お鷹の道…国分寺跡…西国分寺駅

(国分寺崖線に沿ったはけの道は湧水も見どころ)

◎ 2/19(木) 早春の花(蠟梅水仙梅)咲く百草園

京王線百草園駅前 8:00 集合(歩程約 4 時間)

コース 百草園…百草台
自然公園…多摩動物園
前…平山城址公園…平山城址公園駅

(七生丘陵ハイキング
コースを歩く)



ニホンズイセン

II. 登山(事前申し込み制)

◎ 11/9(日) ※ ヤビツ峠から大山

小田急秦野駅前 8:10 集合(歩程約 5 時間)

コース 秦野駅=ヤビツ峠…大山…見晴台…阿夫利神社…大山ケーブル下=伊勢原駅

◎ 12/14(日) 大弛峠～南高尾7サミットを歩く

相模湖駅前 8:20 集合(歩程約 6 時間)

コース 相模湖駅=大垂水…大洞山…中沢山…西山峠…草戸山…四辻…高尾山口駅
(南高尾から東高尾の稜線を歩く)

◎ 1/4(日) 午年の山登りは馬頭刈山から

JR 武蔵五日市駅前 8:20 集合(歩程約 6 時間)

コース 五日市駅=千足…つづらいわ岩…鶴脚山…馬頭刈山…和田向=五日市駅
(午年にあやかり、近くの秋留台地から眺めている馬頭刈山で歩き始め!)

◎ 2/28(日) 勝峰山から麻生山を経て五日市

JR 武蔵五日市駅前 8:00 集合(歩程約 6 時間)

コース 五日市駅…グミノ木峠…深沢山…勝峰山…白石山…麻生山…金比羅尾根…五日市駅
(ロンデン尾根を登り金毘羅尾根を下る)

III. 参加費の一部変更について

※印の企画については、遠隔地における催行につき、¥2,000.-とさせて戴きます。
諸般の事情ご賢察の上ご了承賜り度お願い致します。

IV. 『日のハイ通信』について

◎ バックナンバー

右の二次元コードからこの12号をはじめ、創刊号から今まで発行済みの『日のハイ通信』をカラー版で閲覧可能です。



◎ 日のハイ通信に関するご意見等は下記へ

Email: mk.3193@outlook.jp

日の出町ハイキングガイドの会

会長 石川 剛 宛